

2022年12月9開催

競技会管理システム説明会報告

§1 システム改定の趣旨

- ・競技会申請システムを再構築し、現行のオンラインエントリーシステムと統合する。
- ・主たる変更点；競技会シラバスは紙ベースから競技会管理システムにより作成することとなる。申請内容から自動的に Web ページとして作成される。
- ・オンラインエントリーシステムを全国的に展開する。

§2 スケジュール

2022年12月9日	「競技会申請システム」説明会（Web）
2022年12月中旬	2023年4月1日以降開催する競技会について、新「競技会管理システム」での申請受付を開始する
2023年1月20日	「会員及び選手登録システム」説明会
2023年2月	2023年登録年度の会員&選手登録作業開始
2023年3月末	現行「総合情報システム」運用終了

§3 競技会管理システムの利用方法

- ・県連単位でサービスセンターに必要書類を添付して届出する。
- ・県連体制の確立
 - ①担当者の決定と報告（シラバス作成者、申請者、承認者）。
 - ②シラバスは複数で点検する。
 - ③オンラインエントリーの担当（複数名）も決定する。

2022.12.10 報告者 織田強

以上

新競技会申請システムについて

★「競技会申請システム」を再構築し、オンラインエントリーシステムと統合します。

【現行システムからの主な変更点】

-競技会シラバスが、申請内容から自動的にWebページとして作成されるようになります。(PDFや紙のシラバスは不要(廃止)となります)

その他、申請内容や承認フローは現在の競技会申請システムとほぼ同等の機能になります。

【スケジュール】

2022年12月9日 県連向け「競技会申請システム」説明会開催 (👉本日)

2022年12月中旬 2023年4月1日以降開催の競技会について、新「競技会申請システム」での申請受付開始

また、「総合情報システム」の会員管理/選手管理機能についても、新システムの開発を行っており、以下のスケジュールで新システムでの利用を開始する予定です。

2023年1月20日 県連向け「会員及び選手登録システム」説明会開催予定

2023年2月 2023登録年度の会員&選手登録作業開始

※機能は現行システムとほぼ同じです。

2023年3月末 現行「総合情報システム」運用終了

なお、指導員管理についても2023年5月頃の運用開始を目指して新システムでの開発を行っています。詳細が決まり次第ご連絡させていただきます。

-1-

リニューアル後のJDSF公認競技会 競技会管理システムについて

◎ 2023年4月以降開催の競技会開催申請から、リニューアル後の競技会管理システムをご利用頂きます。

2023年3月まで開催の競技会開催申請は、従来通り現行のシステムをご利用下さい。

なお、現行のシステムは2023年3月末に停止し、ご利用頂けなくなります。予めご承知おきください。

◎ シラバスの形式が、PDFからHTMLとなります。

- ・ シラバス記載事項の見た目の統一化を図ります。
- ・ 競技会開催申請時に必要な情報を入力することで、シラバスが自動生成致します。

◎ オンラインエントリーの実施可否や運営管理者について、競技会開催申請時に設定が可能となります。

◎ 競技会管理システムの利用者は、事前のオンライン会員登録が必須となります。

- ・ オンライン会員登録時の電子メールアドレスとパスワードを用いて、競技会管理システムをご利用頂きます。
- ・ 競技会管理システムの利用者は、事前に別紙の「総合情報システム管理者登録申請書」、及び「個人情報保護誓約書」にて利用者登録をお願い致します。

◎ 現行のシステム利用時に、下部団体(市区、支部)等でシラバスを作成していた方が、今後は競技会開催申請の担当者となります。

競技会管理システムの利用条件と利用者登録

- ・ 競技会管理システムの利用するには、事前のオンライン会員登録が必須となります。

オンライン会員登録時の電子メールアドレスとパスワードを用いて、競技会管理システムをご利用頂きます

- ・ その上で、「総合情報システム管理者登録申請書」と「個人情報保護誓約書」提出をもって利用者登録を行います。

2023年4月以降開催の競技会開催申請から、新しい競技会管理システムをご利用頂きます
従って、利用者登録を行わなければ競技会開催申請は行えません。

● 注意事項

- ・ 競技会申請者と競技会承認者両名に競技会開催時の審判員派遣決定通知メールを送付
- ・ 競技会開催申請団体の組織体制を踏まえ、競技会申請者と競技会承認者の役割分担を明確化する必要があります。

競技会承認者 最低1名、+ 承認代理人1~2名
競技会申請者 複数名以上

-4-

競技会管理システムの利用について

- ・ 競技会管理システムに関連する登場人物とワークフロー

新システム Case2: シラバス作成者 = 競技会開催申請者の場合

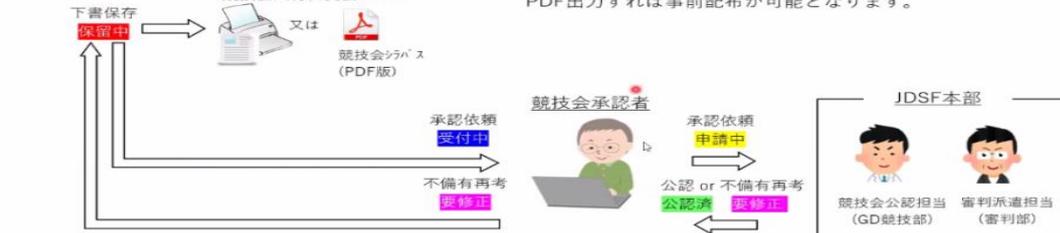
競技会主管(県連下部組織等)

競技会開催申請者



競技会開催申請の申請状況が一旦**保留中**状態でHTMLシラバスを完成させる。その内容を競技会実行委員会メンバーによる複数の目で確認したのち競技会開催申請者に承認依頼

この場合、競技会申請者はHTMLシラバスを紙又はPDF出力すれば事前配布が可能となります。



-3-

注意点



・当システムの推奨ブラウザ

当システムを快適に使うためにWebブラウザソフトはGoogle Chrome  を推奨します。

・HTMLシラバスについて

①HTMLシラバスは、JDSF本部競技部の公認後に自動的にシラバス上に公認番号が付与されます

②HTMLシラバスの競技会開催申請前の事前確認の手段として、シラバスプレビュー機能が搭載されています。この機能を利用すれば、プリントアウトやPDFデータ出力も可能

※詳細は、操作説明書のP22を参照

プレビュー機能の活用事例

(1)申請者自身が入力した内容に対するHTMLシラバスの体裁を確認

(2)競技会開催承認と公認前に競技会実行委員会メンバーに配布と最終チェック

※なお、公認後のシラバスもJDSF公認競技会日程サイトからプリントアウトやPDF出力も可能

